

平成25年10月16日

公開セミナー

途上国の森林保全活動に向けた民間企業の役割と課題

# 途上国の森林保全とREDDプラス をめぐる経緯と動向

(独)森林総合研究所  
REDD研究開発センター長  
松本光朗

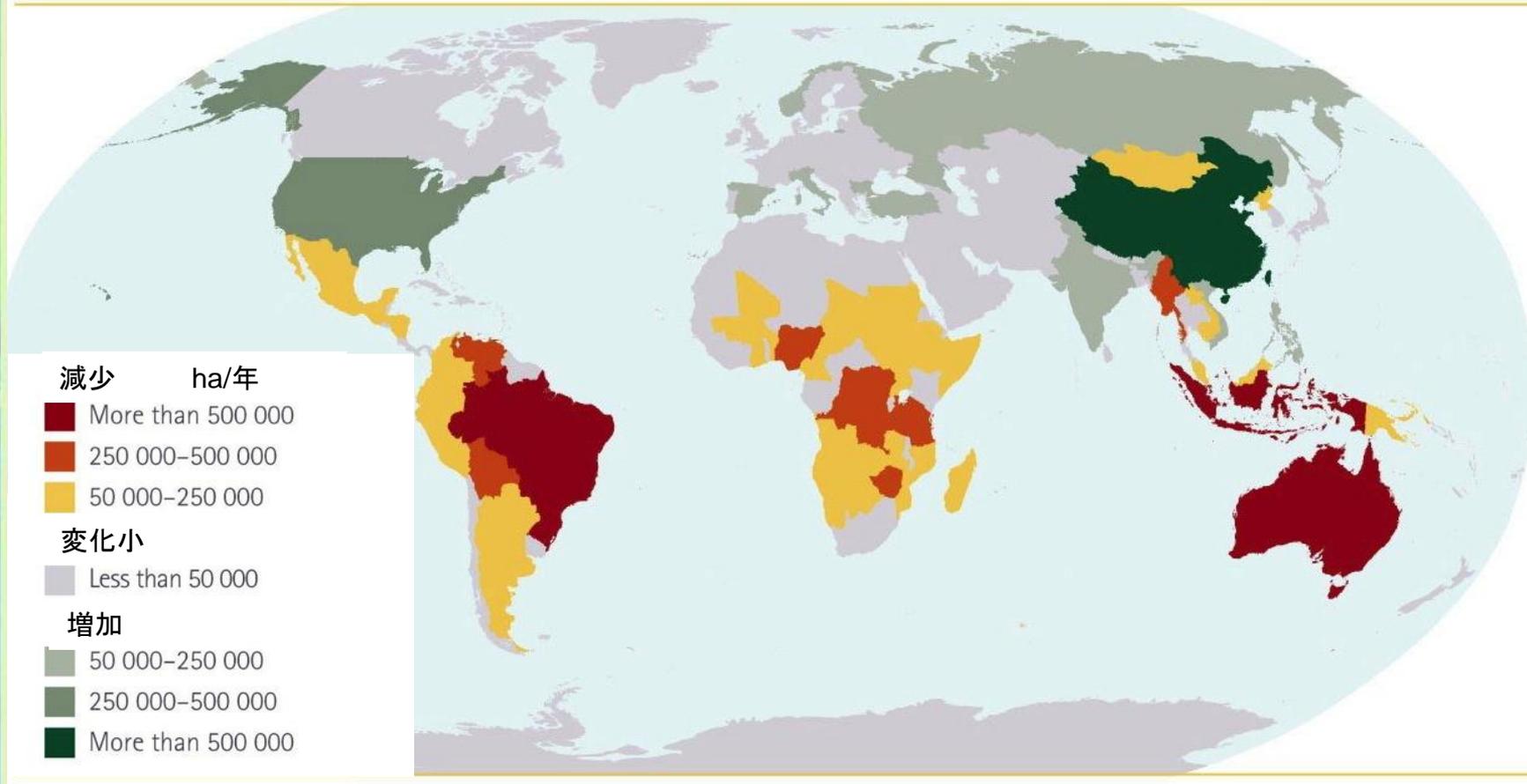


# 途上国の森林



# 途上国の森林が減り続けている

## 各国の森林面積の変化(2005~2010年)



2005-2010年における森林面積変化率 FAO  
2010年世界森林資源報告書より

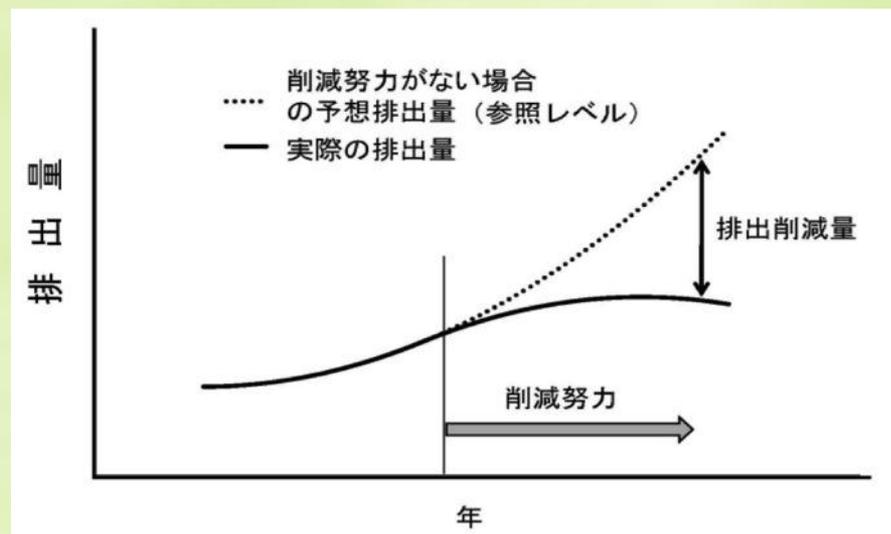
# インドネシアのアブラヤシ林の開発



Kanninen, M. et al., Do trees grow on money?, CIFOR

# 途上国の森林を守る新しい仕組み REDDプラス

- ✿ 炭素排出の20%が森林減少の削減と劣化によるもの
- ✿ 途上国の森林減少・劣化を止める仕組みが必要
- ✿ REDDプラスは、森林減少・劣化からの排出の削減や炭素吸収ができればインセンティブが得られる仕組み
- ✿ 気候変動枠組条約において枠組み作りの交渉中



# セーフガード

- ✿ REDDプラスにより発生する恐れのあるマイナス要素を、あらかじめ取り除く必要
- ✿ COP16カンクン合意は、推進すべき7つのセーフガードを提示
  - ✿ 活動の促進・支援
  - ✿ 森林ガバナンスの促進・支援
  - ✿ 先住民・地域住民の権利の考慮
  - ✿ 利害関係者の参加
  - ✿ 天然林の保全、生物多様性保全の促進・支援
  - ✿ 反転の回避
  - ✿ 排出移転の抑制



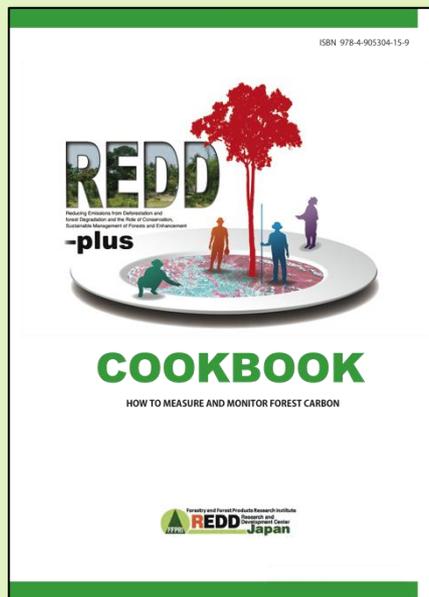
# 温暖化対策の新しい動き

- ✿ 日本政府は二国間クレジット制度(JCM)を推進
- ✿ 日本と途上国との合意に基づく制度
- ✿ 2012年1月のモンゴルからはじまり、バングラディシュ、エチオピア、ケニヤ、モルジブ、ベトナム、ラオス、インドネシアと合意
- ✿ REDDプラスが位置付けられることへ期待



# REDD研究開発センターの取組み

- ✿ REDDプラス・クックブック
  - ✿ 技術解説書
- ✿ REDDプラス・実施ガイドライン
  - ✿ JCMを想定したガイドライン
- ✿ 普及活動
  - ✿ セミナー開催、DVD、メールマガジン、Web、文献DB、



# REDDプラスの見通しと課題

- ✿ UNFCCCでのREDDプラスが動き出すのはまだ少し時間が必要
  - ✿ 途上国において能力開発の余地が大きい
  - ✿ そのフェーズでの資金が必要
- ✿ 一方、世銀が進めるFCPFや、民間のVCSなどの自主的取組みは動き出している
  - ✿ JCMでのREDDプラスもそのひとつと成り得るか？
- ✿ UNFCCCが動き出す前に経験・実績が必要
  - ✿ 経験や実績を国際的な枠組みに反映

# 民間企業への期待

- ✿ 我が国の企業活動は、我が国の市民・消費者と途上国の森林をつなぐ大きな役割を果たすことが期待されている
- ✿ 今後我が国の民間企業が本業の発展とともに、途上国の森林保全に取り組むためにはどうしたら良いだろうか？



# 本日のプログラム

15:10-15:30	「途上国の森林保全とREDDプラスをめぐる経緯と動向」 森林総合研究所REDDセンター長 松本光朗
15:30-15:50	「民間の参画による森林保全 –インドネシアとペルーからの事例」 コンサベーション・インターナショナル・ジャパン 浦口あや氏
15:50-16:10	「東南アジアにおける森づくりオフセットの取り組み」 住友林業株式会社 佐藤裕隆氏
16:10-16:30	「熱帯雨林の保全につながる企業のCSR活動事例」 モア・トゥリーズ 水谷伸吉氏
16:30-16:50	「熱帯林保全に関する合法木材と小売業界の役割」 FoEジャパン 三柴淳一氏
16:50-17:05	パネルディスカッション導入 株式会社 博報堂 川廷昌弘氏
17:05-17:15	休憩
17:15-17:45	パネルディスカッション(司会:森林総研 松本光朗)